

鹿屋市立大始良小学校 特別の教育課程の実施状況等について

1 特別の教育課程の概要

本校では、文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下記の時数を確保し、英語教育を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学1年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校6年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成することを目指しています。

学 年	1年	2年	3年	4年	5年(教科)	6年(教科)	総時数
年間時数	20	20	35	35	70	70	250
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let's Try! 1	Let's Try! 2	教科書 My Book	教科書 My Book	

2 本校の教育目標

やさしさとたくましさをもち、進んで学び、自らの可能性を広げていく子どもを育成する。

3 本校の英語教育の実践について

《時数》1・2年生；20時間，3・4年生；35時間，5・6年生；70時間

《目標》

1・2年生

- 英語を楽しく聞いたり，発音したり，全身を使った表現活動を通して英語の音声やリズムなどを楽しむとともに，体験的な活動を通して英語や文化に親しみ，簡単な英語の語句や表現を使って，楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

3・4年生

- 英語を楽しく聞いたり，発音したり，全身を使った表現活動を通して英語の音声やリズム等に慣れ親しむとともに，体験的な活動を通して英語や文化に親しみ，積極的に英語の語句や表現を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

5・6年生

- 英語を楽しく聞いたり，発音したり，全身を使った表現活動を通して，英語の音声やリズム等に慣れ親しむ。また，身近な場面の中で体験的な活動を通して英語や文化への親しみを深め，英語の語句や表現を十分に活用して，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- 大文字，小文字を活字体で書いたり，自分のことや身近で簡単な事柄について例文を参考にして書いたりすることができるようにする。

4 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価（児童）の結果から

英語の授業は好きですか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
好き	75%	87%	76%	58%	61%	34%
どちらかというが好き	12%	13%	12%	30%	26%	46%
あまり好きではない	10%	0%	10%	12%	7%	16%
好きではない	4%	0%	2%	0%	7%	4%

(2) 自己評価（教員）の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
15%	77%	8%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 英語に親しみやすくなる。
- ・ 楽しく歌ったり，映像を楽しんだりすることができる。
- ・ 英語の語彙を増やし，少しでも英語でのコミュニケーションに自信をもたせたい。
- ・ 外国人の方と親しみ，壁をつくらず，積極的にコミュニケーションをとれること。
- ・ 高学年に上がっても積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が身につけてほしい。
- ・ 英語を通してのコミュニケーション能力の育成がその他のことに波及していけばいいと思います。

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは，英語の授業が好きですか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
55%	37%	7%	1%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 英語が楽しいと思える授業になってほしいです。
- ・ 英語に苦手意識をもたないようにしてほしいです。
- ・ 楽しくコミュニケーション能力が高まる授業になればいいと思います。
- ・ 英語を話す，聞くことを身近に感じてほしいです。
- ・ 自分で話している言葉の意味を理解して，会話できるようになってほしいです。
- ・ 慣れ親しんでスペルとかを覚えることができたらいいです。

(4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
100%	0%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 英語教育に早い時期から取り組むことで基礎が身につくと思う。
- ・ コミュニケーション力の向上につながると考える。
- ・ 若年から教わることで，よりよい英語力がつくと考えられるので少しでも早い時期のスタートがいいと思う。

5 今後の取組について

- 効果的な指導方法や評価についての研修の機会を増やし，全職員共通理解のもとに学習活動を展開していきたい。